



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,993	1.7	196	21.9	189	18.1	109	40.8
25年3月期第2四半期	5,894	△11.0	161	42.7	160	47.1	77	48.3

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 109百万円 (39.7%) 25年3月期第2四半期 78百万円 (53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.55	—
25年3月期第2四半期	4.65	—

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,794	1,823	37.8	108.69
25年3月期	5,249	1,847	35.0	110.14

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 1,814百万円 25年3月期 1,838百万円

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	700.00	—	800.00	1,500.00
26年3月期	—	700.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行ったため、26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は800円00銭であり、年間の1株当たり配当金は1,500円00銭であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	0.1	430	2.1	425	0.6	260	2.4	15.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	16,693,200 株	25年3月期	16,693,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	16,693,200 株	25年3月期2Q	16,693,200 株

(注) 平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日本銀行による脱デフレ・景気回復策への期待感と円安の進行による輸出関連企業の業績回復傾向などから、株式相場が長期低迷を脱して比較的堅調に推移するなど景況感が明るさを増すと共に、実体経済においても回復基調が明確になりつつあります。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の急激な普及に伴い、増加したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「経営支援コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が59億93百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益が1億96百万円(前年同四半期比21.9%増)、経常利益が1億89百万円(前年同四半期比18.1%増)、四半期純利益が1億9百万円(前年同四半期比40.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」では、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、新規契約の獲得が伸び悩むなどにより、売上高は42億60百万円(前年同四半期比6.9%減)、セグメント利益は22百万円(前年同四半期比69.9%減)となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」では、印刷及び商業印刷物の企画・制作等を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、主に受注の増加と生産性の向上により、売上高は8億59百万円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント利益は96百万円(前年同四半期比77.0%増)となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」では、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を提供しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、主に(株)保険ステーションの営業拠点拡大にともなう保険契約数の大幅な増加が寄与して、売上高は8億65百万円(前年同四半期比66.4%増)、セグメント利益は92百万円(前年同四半期比78.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は47億94百万円となり、前連結会計年度末比4億55百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少(1億30百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(3億51百万円)によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は29億71百万円となり、前連結会計年度末比4億30百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(2億30百万円)、社債の減少(3億円)及び借入金の増加(1億98百万円)によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における少数株主持分の残高は8百万円となりました。また、純資産の残高は18億23百万円となり、前連結会計年度末比24百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少し、8億66百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果獲得した資金は、54百万円（前年同四半期は1億39百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億43百万円、売上債権の減少額3億51百万円、その他流動資産の増加額88百万円等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果獲得した資金は、72百万円（前年同四半期は41百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出42百万円、保険積立金の解約による収入1億9百万円等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、2億56百万円（前年同四半期は5億18百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入による収入3億円、社債の償還による支出3億円及び配当金の支払額1億33百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,856	866,686
受取手形及び売掛金	1,912,791	1,561,489
商品及び製品	75,396	70,902
仕掛品	77,444	47,149
原材料及び貯蔵品	6,060	6,267
その他	661,723	721,635
貸倒引当金	△22,390	△11,651
流動資産合計	3,707,883	3,262,479
固定資産		
有形固定資産	740,947	711,734
無形固定資産		
のれん	170,595	152,666
その他	106,210	121,988
無形固定資産合計	276,805	274,654
投資その他の資産		
その他	572,170	612,477
貸倒引当金	△48,371	△66,530
投資その他の資産合計	523,798	545,946
固定資産合計	1,541,552	1,532,335
繰延資産		
社債発行費	515	—
繰延資産合計	515	—
資産合計	5,249,951	4,794,814
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,386,888	1,156,780
1年内償還予定の社債	300,000	—
短期借入金	198,996	228,996
未払金	772,897	792,894
未払法人税等	73,362	17,999
賞与引当金	74,350	73,898
役員賞与引当金	14,000	10,000
その他	261,320	227,674
流動負債合計	3,081,815	2,508,244
固定負債		
長期借入金	104,672	272,674
退職給付引当金	105,056	107,882
その他	110,664	82,648
固定負債合計	320,393	463,204
負債合計	3,402,208	2,971,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,253,927	1,229,682
株主資本合計	1,838,635	1,814,390
少数株主持分	9,107	8,974
純資産合計	1,847,742	1,823,365
負債純資産合計	5,249,951	4,794,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,894,473	5,993,274
売上原価	4,754,216	4,755,364
売上総利益	1,140,256	1,237,909
販売費及び一般管理費	979,089	1,041,513
営業利益	161,167	196,396
営業外収益		
受取利息	2,402	118
持分法による投資利益	3,107	—
違約金収入	3,521	3,700
その他	5,363	4,370
営業外収益合計	14,395	8,190
営業外費用		
支払利息	9,110	7,170
持分法による投資損失	—	4,713
その他	6,356	3,649
営業外費用合計	15,467	15,533
経常利益	160,095	189,053
特別利益		
投資有価証券売却益	116	12,886
資産除去債務消滅益	3,109	—
特別利益合計	3,225	12,886
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	24,650
固定資産売却損	—	27
投資有価証券売却損	485	—
減損損失	—	28,579
本社移転費用	14,146	—
その他	6,170	5,470
特別損失合計	20,801	58,726
税金等調整前四半期純利益	142,519	143,213
法人税、住民税及び事業税	60,467	15,848
法人税等調整額	4,168	18,197
法人税等合計	64,635	34,045
少数株主損益調整前四半期純利益	77,884	109,168
少数株主利益又は少数株主損失(△)	279	△132
四半期純利益	77,604	109,300

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,884	109,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	—
その他の包括利益合計	279	—
四半期包括利益	78,163	109,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,883	109,300
少数株主に係る四半期包括利益	279	△132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	142,519	143,213
減価償却費	76,241	72,530
減損損失	—	28,579
のれん償却額	19,262	17,928
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,981	7,420
賞与引当金の増減額 (△は減少)	515	△451
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,750	△4,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,885	2,825
受取利息及び受取配当金	△2,529	△144
支払利息	9,110	7,170
違約金収入	—	△3,700
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,942	5,460
投資有価証券売却損益 (△は益)	368	△12,886
持分法による投資損益 (△は益)	△3,107	4,713
移転費用	14,146	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	27
売上債権の増減額 (△は増加)	575,353	351,301
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,283	34,583
未収入金の増減額 (△は増加)	12,125	17,159
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△8,684	△88,615
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△37,072	△191,533
仕入債務の増減額 (△は減少)	△543,926	△214,766
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,515	△47,162
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,300	2,000
その他	△1,487	△1,352
小計	253,192	130,298
利息及び配当金の受取額	2,607	143
利息の支払額	△8,696	△7,370
法人税等の支払額	△47,251	△71,690
特別退職金の支払額	△60,000	—
違約金の受取額	—	2,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,852	54,346

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,193	△42,307
無形固定資産の取得による支出	△11,645	△22,804
投資有価証券の取得による支出	△5,460	—
投資有価証券の売却による収入	961	24,282
保険積立金の解約による収入	—	109,060
貸付金の回収による収入	34,157	4,016
事業譲渡による収入	50,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,819	72,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△71,950	△65,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△95,250	△36,998
社債の償還による支出	△200,000	△300,000
配当金の支払額	△133,310	△133,487
リース債務の返済による支出	△17,887	△21,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△518,397	△256,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△336,740	△130,170
現金及び現金同等物の期首残高	1,460,511	996,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,123,771	866,686

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,574,662	793,445	520,331	5,888,440	6,033	5,894,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,359	4,176	8,252	18,788	—	18,788
計	4,581,022	797,622	528,583	5,907,228	6,033	5,913,261
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	74,854	54,288	51,930	181,074	△963	180,110

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりま
す。なお、平成24年3月31日に「ドキュメント・ソリューション事業」に含まれている当社の連結子会社の
株式会社新英のドキュメント・ソリューション事業を第三者に事業譲渡いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主
な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	181,074
「その他」の区分の損失	△963
セグメント間取引消去	△1,014
のれんの償却額	△17,928
四半期連結損益計算書の営業利益	161,167

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,260,376	859,401	865,696	5,985,474	7,800	5,993,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,769	4,606	3,341	15,717	—	15,717
計	4,268,146	864,007	869,037	6,001,192	7,800	6,008,992
セグメント利益	22,499	96,106	92,855	211,462	2,497	213,959

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	211,462
「その他」の区分の利益	2,497
セグメント間取引消去	365
のれんの償却額	△17,928
四半期連結損益計算書の営業利益	196,396

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23,307千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアの減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5,271千円であります。

(重要な後発事象)

株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更

当社は、平成25年8月20日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で株式分割及び単元株制度の導入を実施いたしました。

1. 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

平成19年11月27日に、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単위를100株とするため、株式分割を実施するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の金額の実質的な変更はありません。

2. 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

平成25年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加した株式数

株式の分割前の発行済株式総数	166,932株
株式の分割により増加する株式数	16,526,268株
株式の分割後の発行済株式総数	16,693,200株
株式の分割後の発行可能株式総数	66,000,000株

(3) 株式分割の効力発生日 平成25年10月1日

3. 単元株制度の採用

(1) 新設する単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成25年10月1日